133 番の歌 若い時にエホバを崇拝する

将来につながる教育の選び方

「*聡明な人*は*1 歩ごと*に*じっくり考える*」。格言 14:15

ポイント：もっと教育を受けるかどうか決める時，どんな要素を考えるといいでしょうか。応用できる聖書の原則を学びます。

1-2. （ア）若い人はどんなことを決めないといけませんか。（イ）この記事と次の記事では，どういう教育について考えますか。（脚注を参照。）

「将来どんな仕事がしてみたい？」若い人はそう尋ねられたことが何度もあるんじゃないでしょうか。自分でもそういうことを考えたことがあるはずです。クリスチャンにとって最高の仕事は全時間奉仕です。でも，そういう奉仕をするにしても自分で生計を立てなければいけません。（テサ二 3:10 実際，私たちは皆さんと一緒にいた時，「**働こうとしない人は食べてはならない**」と命じていました。）

2 仕事を見つけるには，義務教育の後ももっと教育*この記事と次の記事でいう教育とは，公的な基礎教育以上のものを指しています。それには，大学，短大，専門学校，高専，資格取得講座などが含まれます。を受けた方がいい，と思う若い人もいます。親ともよく相談して，もっと教育を受けることにする場合，どんな選択肢があるでしょうか。エホバの考えに沿ってよく考えればきっといい判断ができます。この記事では，**役に立つ聖書の原則**を取り上げます。若い人向けの記事ですが，親にとっても役立ちます。仕事を見つけるために**さらに教育を受けるべきか**考えているクリスチャンみんなにとって参考になります。

もっと教育を受けた方がいいか

3. さらに教育を受けたいと思うクリスチャンがいるのはどうしてですか。

3 国によっては，基本的な教育を受けていれば，十分自活していける仕事に就けます。一方で，伝道やほかの奉仕に打ち込みやすい，比較的割のいい仕事に就こうとすると，さらに教育を受けなければいけないという地域もあります。でも，**リスク**も考えないといけません。

4. さらに教育を受けるかどうか決める責任は誰にありますか。（脚注も参照。）

4 聖書によれば，私たちはみんな「自分の責任を自分で負」わなければいけません。（ガラ 6:5 人はそれぞれ，**自分の荷(*責任)を自分で負う**のです。注釈パウロは，「**自分の荷を自分で負う**」ようにと言いました。これはつまり，**神に仕える者として，私たち各自には果たすべき責任がある**ということです。を参照。

）大人であれば，さらに教育を受けるかどうか自分で決めます。*これまでエホバの証人が出した記事の中では，**基礎的な教育以上の教育**を受けることは**勧められてきませんでした**。例えば，「ものみの塔」2005 年 10 月 1 日号の「親の皆さん ― お子さんにどんな将来を望んでいますか」という記事では，大学に行くことにどんなリスクがあるかが取り上げられました。そういう**リスクは今でもありますが**，さらに教育を受けるかどうかは，それぞれが決めるべきことです。**一人一人のクリスチャン**が，**子どもの場合は親**が，**よく祈って**，**聖書の原則**や**関係する要素**を考えた上で**判断**します。誰も**人の判断をとやかく言うべきではありません**。**長老であっても**です。（ヤコ 4:12）子供であれば，親が決める責任を負います。（エフェ 6:1 子供は，主に喜ばれるよう親に従ってください。そうするのは正しいことです。）子供の時に親がきちんと教えていれば，大人になった時，自分で賢く判断できるはずです。（格 22:6 少年(*子供/若者)を**彼の行くべき道に沿って育てよ**。彼は**年を取っても**，それから**離れない**。）

5. さらに教育を受けるかどうか，いつから考え始めるといいですか。どうしてですか。（写真も参照。）

5 たいていの場合，若い人は義務教育を終える前に，さらに教育を受けるかどうか決めます。慌てて決めるのではなく，十分前もって親とよく話し合うことが大切です。そうすれば，親子でいろんな選択肢を調べて準備できます。在学中も，将来の就職や進学につながるような科目を選べるかもしれません。でも，義務教育を終える前に必ず決めなければいけないわけでもありません。（格 21:5 **勤勉な人の計画**は**必ず成功(*良いこと)**につながり，**せっかちな人**は**必ず貧乏へ**と向かう。）中には，まず学校を卒業して仕事を見つけ，開拓奉仕を始めてからさらに教育を受けるべきかどうか考える人もいます。あるいは，もっと後になって決めることもあり得ます。



どんな教育を受けるかについて，クリスチャンの**親**は子供が正しく判断できるよう助ける。（5 節を参照）

6. さらに教育を受けるかどうか，どうすれば良い判断ができますか。

6 ではどうすれば良い判断ができるでしょうか。まず，エホバに祈ってください。（ヤコ 1:5 皆さんの中に**知恵の欠けた人**がいるなら，その人は**神に求め続けて**ください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず，**全ての人に惜しみなく与えてくださる**からです。**求め続ければ**与えられます）それから，次の 2 つのステップを踏みます。1 つ目に，**どうして**さらに教育を**受けたい**のか，正直に考えます。（詩 26:2 エホバ，私を調べ，試してください。奥底の考え(*奥底の感情/d 腎臓)と心を清めて(*)ください。）2 つ目に，さらに教育を受けることの**メリット**と**デメリット**を考えます。（格 14:15 **世間知らずの(*経験のない)人**は**全ての言葉を信じ**，**聡明な人**は**1 歩ごと**にじっくり考える。）1 つずつ見ていきましょう。

どうして教育を受けたいのか考える

7. もっと教育を受けたいと思う場合，どんなことを考えるといいですか。

7 もっと教育を受けたいと思っているなら，自分にこう問い掛けてみてください。①「どうしてそうしたいと思っているんだろう？」多くの人は，やりがいのある仕事や給料のいい仕事に就くために，さらに教育を受けます。それは別に間違ったことではありません。（テモ一 5:8 もしもある人が，自分の家族，**特に一緒に住んでいる人たちに必要な物を与えない**なら，**クリスチャンの信条を否定**していることになり，**信仰のない人より悪い**といえます。）でも聖書によると，お金のことばかり考えたり，今の世の中での安定を求めたりするのは危ないことです。（格 23:4，5 **富を得ようとして疲れ切ってはならない。** そうするのを**やめて理解力を**示せ(if*自分の理解に頼るのをやめよ)。 5 目をやると，そこに富はない。 それは**必ずワシのように翼を生やして空に飛び去る**。テモ一 6:8-10 ですから，**食物(*命を支える物)と衣服(if*住まい/d 覆い)**があれば，**それで満足**します。 9 しかし，**裕福になろうとする人たち**は，**誘惑とわな**に陥り，多くの**無分別で有害な欲望**を抱き，**破滅と滅びに**至ります。 10 **お金を愛する**ことは，**あらゆる悪い事柄の根**なのです。ある人たちはこの愛にとらわれて信仰を失い(*クリスチャンの信条から迷い出)，多くの苦痛を身に招き(d*多くの苦痛で自分の全身を刺し)ました。ヨハ一 2:17 さらに，**世**も，**世の欲望**も，**過ぎ去りつつ**あります。**一方，神の望むことを行う人**は**永遠に生き**ます。）お金持ちになりたいとか，みんなから一目置かれたいという気持ちでさらに教育を受けるとしても，本当の幸せはつかめません。エホバとの絆もだんだん弱くなってしまうかもしれません。

8-9. （ア）クリスチャンは何のために教育を受けますか。（マタイ 6:33）（イ）ホセフィーナ，モーリン，イーリスのコメントから何が学べますか。

8 私たちにとって**一番大切なのはエホバに仕えること**であって，教育を受けることではありません。教育を受けていれば，自活しながらエホバに仕えていくことができます。（マタ 22:37，38 イエスは言った。「『あなたは，心を尽くし，知力を尽くし，自分の全てを尽くして，あなたの神エホバを愛さなければならない』。 38 これが最も重要な第一のおきてです。フィリ 3:8 それどころか，主である**キリスト・イエスについての知識に極めて大きな価値**があるので，**ほかの何もかもを損だと**思っています。私はキリストのために**あらゆるものを失いましたが**，そうしたものを**多くのくずのよう**だと思っています。キリストを得て，）それで，**教育**はエホバへの奉仕をするための**手段**にすぎません。（マタイ 6:33 ですから，**王国と神から見て正しいこと**とを**いつも第一に**しなさい。そうすれば，こうした**ほかのもの全ても**，あなたたちに**与えられ**ます。を読む）

9 兄弟姉妹の声を聞いてみましょう。チリのホセフィーナ姉妹はこう言っています。「エホバにベストを尽くして仕える上でプラスになると思って，進学することにしました。教育は目標を達成するための手段にすぎません」。美容師の学校に 1 年間行ったモーリン姉妹はこう言っています。「伝道者がもっと必要な所で奉仕したいと思って，その学校に通いました。卒業した後，美容師として働いて引っ越すためのお金をためました。技術があったので，引っ越した先でも仕事を見つけやすかったです」。歯科関連の学校に行ったイーリス姉妹はこう言っています。「もっと教育を受けることにはそれなりにメリットがあるかもしれませんが，そこからは本物の満足感は得られません。**本当の幸せを味わうのに必要なこと**はとてもシンプルです。**エホバを中心にし**

た生き方をすることです」。確かにその通りです。エホバとの友情を一番大切にしていれば，いい判断ができ，ずっと幸せでいられます。

メリットとデメリットを考える

10. もっと教育を受けるかどうか判断するのに，申命記 32 章 29 節はどう役立ちますか。

10 もしかすると，どんな仕事に就きたいか，そのためにどんな教育を受けたいか，ある程度自分の中でまとまっているかもしれません。でも，少し視野を広げて，まだ考えたことがない職業や学校について検討するのもいいことです。（格言 18:17 **最初に言い分を述べる人は正しく見える。やがて相手方が来て，彼に問いただす**(*を徹底的に調べる)。と比較。）昔と違って，今はオンラインでも勉強できます。そもそも，さらに教育を受けなくても十分生活していけるかもしれません。例えば，フィンランドのヨハンナ姉妹は基本的な教育しか受けていませんが，こう言っています。「卒業後，パートタイムの仕事を見つけて開拓を始めました。いろんな仕事を経験してきましたけど，エホバは約束通り必要なものをいつも与えてくれています」。進学するのかしないのか，どんな分野の教育を受けるのかについて，どういう選択をするにしても，必ずメリットとデメリットがあります。それで考えたいのは，メリットの方がデメリットより大きいか，ということです。（申命記 32:29 彼らが**賢かったなら！** そうしたら，彼らはこのことを**じっくり考えるだろう。 自分たちがどうなるかを**考えるだろう。 を読む。コリー 10:23 **全てのことが許されています**が，**全てのことがためになるわけではありません**。全てのことが許されていますが，**全てのことが励みになるわけではありません**。）次のようなポイントに照らして考えてみてください

11. どれくらいの時間を取られるか考えるのが大切なのはどうしてですか。（写真も参照。）

11 ***時間***。毎週授業やトレーニングを受けたり課題をしたりするのに，どれくらいの時間が取られるでしょうか。そういう予定をこなしながら，クリスチャンとしての活動や家のことをきちんとできるでしょうか。（フィリ 1:10 皆さんが**より重要なことを見極め**，キリストの日までずっと純粋でいて，人の信仰を妨げることがありませんように。）学校の勉強で疲れ切ってしまい，集会の予習をしたり聖書を学んだりする気力が残っていない，ということがあるでしょうか。インドのジェロズ兄弟がそうでした。こう言っています。「勉強とクリスチャンの活動を両立させるのはかなり大変で，集会を休んでしまうこともありました。今思うと，勉強にあそこまで時間と体力をつぎ込む価値はありませんでした」。そこまで時間を取られず，課題もそんなに多くないものを探すこともできます。モザンビークのレベッカ姉妹はこう言っています。「1 日 2 時間のコースだったので，開拓奉仕を続けながら勉強できました」。



もっと教育を受けるにしても，ほかのやるべきことのためにきちんと時間を取れるでしょうか。（11 節を参照）

12. もっと教育を受けるにしても，どうすればいい時間の使い方ができますか。（伝道の書 12:1）

12 ***期間***。卒業するまでに何カ月，何年かかるでしょうか。本当にベストな時間の使い方になるか，考えてみてください。（エフェ 5:15-17 それで，自分の歩み方をしっかり見守りましょう。賢くない人ではなく**賢い人のように歩み，** 16 **時間を有効に使って**ください。今は悪い時代だからです。 17 もう無分別なことをしてはなりません。**いつでも，エホバが何を望んでいるか**を**見極め**ましょう。）若いうちにエホバに力いっぱい仕えるのは爽やかなものです。全時間奉仕を始めることもできます。もっと教育を受けると，そういうチャンスを逃してしまうでしょうか。（伝道の書 12:1 それで，**若いうちにあなたの偉大な創造者**を**覚え(*意識し)**なさい。やがて，苦難の日々を迎え，「何も楽しくない」とあなたが言う年月が来るからだ。を読む。）何かの分野でもっと教育を受けるとしても，期間が少なくて済むオプションもあります。例えば，職業訓練学校や専門学校なら，大学よりも短い期間で，しかも費用を抑えて役立つ技術を身に付けられます。チリのマリオ兄弟はこう言っています。「2 年間専門学校に行きました。大学よりずっと安かったです。授業は週に 4 日だけだったので，学校に行きながら開拓奉仕ができました」。

13. 家族と離れて暮らすことにはどんなリスクがありますか。

13 ***場所***。行きたい学校が家から遠かったり，寮に入らないといけなかったりする場合はどうでしょうか。家族と離れて暮らすと，エホバとの絆が危険にさらされるかもしれません。エホバを信じていない人と一緒に暮らす場合はなおさらです。（格 22:3 **聡明な人**は**危険に気付いて身を隠す**が，**経験のない人たち**は進んでいって**当然の報い(*罰)を受ける**。コリ一 15:33 だまされて(*思い違いをして)はなりません。**悪い交友**は**良い習慣**を**台無しに**します。）モザンビークのマティアス兄弟は，学費が比較的安い 1 年のコースを取りましたが，今では後悔しています。こう言っています。「寮生活だったので，24 時間 365 日誘惑にさらされました。家族と離れて暮らすのは絶対にお勧めしません」。ロシアのある姉妹はこう言っています。「実家から学校に通ったので，いろいろ危ない目に遭わずに済みました」。家から通える範囲の学校を探したり，オンラインコースを検討したりすることもできます。

14. どんな教育を受けるか考える時，ルカ 14 章 28 節はどう役立ちますか。

14 ***費用***。学費がそれほど高くなかったり，公的な援助が受けられたりすることもあります。そういう場合，高いお金を払わずに，仕事を見つけるのに役立つスキルや知識を身に付けることができます。でも，教育を受けるにはたいていお金がたくさんかかります。そもそも志望校に行くために塾や予備校に行かなければいけないこともあるので，そういう費用も必要になります。教育費のために借金をすると，返済に何年もかかるかもしれません。モザンビークのアディルソン兄弟はこう言います。「四年制の大学に行かせてもらいましたが，そのせいで実家の家族は食べる物にも困っていました」。それで学校を選ぶ時には，次のような要素を考えましょう。「①どれぐらいの費用がかかるだろうか。②きちんと支払えるだろうか。そのせいで③家族にかなりの負担がかからないだろうか。④費用を抑えられるオプションはないだろうか」。（ルカ 14:28 例えば，塔を建てようと思う場合，まず座って費用を計算し，完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないでしょうか。を読む。）「⑤借金をするとしたら，返済にどれぐら

いかかるだろう。⑥将来働いて自活しながら返済していけるだろうか」。（格 22:7 裕福な人は貧しい人たちを支配し，**借りる人は貸す人の奴隷**になる。）

15. どんな教育を受けるか決める時に，仕事のニーズについても考えるのは大切です。どうしてですか。

15 ***仕事の見つけやすさ***。自分が住んでいる所や，将来住みたいと思っている所ではどんな仕事のニーズがあるか，考えてみてください。教育を受けることは仕事を見つける上で本当にプラスになるでしょうか。教育課程によっては，知識ばかりを頭に詰め込んで，実践的なことをほとんど教えてもらえない場合もあります。（コロ 2:8 **哲学**や，**中身のない欺き**により，誰かに**捕らわれてしまうことがないよう**気を付けてください。そうしたものは人間の伝統や世の理念に基づいており，キリストを源とするものではありません。）インドのある姉妹はこう言っています。「仕事で役立ちそうなスキルは何も身に付きませんでした。せっかく勉強したのに特に生かせていません」。そもそもその仕事のニーズが多くないという場合もあります。中央アフリカ共和国のサブライム兄弟は，学校でエアコンの修理の仕方を学びました。でもこう言っています。「たいていの人は自分で何でも直せるので，そういう仕事は全然ありませんでした」。

16. 教育を受けた後に就く仕事について，どんなことを考えるといいですか。

16 その教育を受けると，どんな分野の仕事に就くことになるか考えてみてください。楽しめそうな仕事でしょうか。（伝 3:12，13 私はこう結論した。**生涯の間，喜び，善を行う**。人にとって**これ以上の幸せはない**。 13 人は皆，食べ，飲み，**一生懸命働いて充実感を得る**とよい。それは**神からの贈り物**なのだ。）職場環境はどうでしょうか。労災のリスクが高いでしょうか。競争が激しく，ストレスが大きい業界でしょうか。自活していくだけの給料がもらえるでしょうか。コンスタントに勉強することが求められる職業でしょうか。何よりも，その仕事をしながらエホバを一番大切にしていけるでしょうか。（伝 12:13 全てを聞いた今，結論はこうだ。**真の神を畏れ**，その方の**おきてを守りなさい。人の務めはそれに尽きる。**）もちろん，そもそも働き口が多くなくて，就きたい仕事に就けないこともあり得ます。それで，将来の仕事探しにプラスになるような教育を選ぶことができます。インドのタビサ姉妹は，裁縫を学ぶ 6 カ月のコースを受講しました。こう言っています。「洋服を作る仕事をしながら開拓奉仕ができると思ってそのコースを選びました。だいたいいつも仕事があって，自由が利いて，初期費用もそんなにかからないからです」。姉妹はそういうコースを受けていたので，開拓奉仕ができる仕事を見つけられました。

17. （ア）どんな教育を受けるか判断するのに必要な情報をどうやって集められますか。（イ）判断に役立つどんな聖書の原則がありますか。（「聖書をベースにしてよく考えましょう」の囲みを参照。）

17 これまで，検討するといい要素を考えてきました。いい判断をするのに必要な情報をどうやって集められるでしょうか。関心がある学校やコースを実際に見学したり，ホームページを調べたりしてみましょう。求人情報をチェックして，その教育を受けた後にどれぐらいの仕事のニーズがあるのかも調べてみてください。同じような教育を受けたことがある人や，進みたい分野で実際に働いている人に相談してみましょう。（格 13:10 出過ぎたことをすると，争いが起きるだけである。 **助言を求める(*協議する)人たちには知恵がある。**）「どんな**メリット**と**デメリット**があ

りましたか」と聞いてみてください。エホバへの奉仕を心から楽しんでいる人たちにも相談してみましょう。（格 15:22 相談(*内密の話し合いを)しないと計画は失敗し，助言者が多ければ達成される。）話を聞いているうちに，それまで考えたことがなかったような仕事や教育の分野に気付くかもしれません。

聖書をベースにしてよく考えましょう

- もっと教育を受けたいと思うのはどうしてだろう。（マタ 6:33 ですから，**王国と神から見て正しいこととをいつも第一に**しなさい。そうすれば，こうしたほかのもの全ても，あなたたちに与えられます。テモ一 6:8-10 ですから，食物(*命を支える物)と衣服(if*住まい/d 覆い)があれば，それで満足します。 9 しかし，**裕福になろうとする人たちは**，誘惑とわなに陥り，多くの無分別で有害な欲望を抱き，**破滅と滅びに至り**ます。 10 **お金を愛すること**は，**あらゆる悪い事柄の根**なのです。ある人たちは**この愛にとらわれて信仰を失い**(*クリスチャンの信条から迷い出)，**多くの苦痛を身に招き**(d*多くの苦痛で自分の全身を刺し)ました。）
- 授業を受けたり課題をしたりするのにどれぐらい時間を取られるだろうか。（フィリ 1:10 皆さんが**より重要なことを見極め**，キリストの日までずっと純粋でいて，人の信仰を妨げることがありませんように。）
- 卒業するのに何年かかるだろうか。（エフェ 5:15-17 それで，**自分の歩み方**を**しっかり見守り**ましょう。賢くない人ではなく**賢い人のように歩み**， 16 **時間を有効に使って**ください。今は悪い時代だからです。 17 もう無分別なことをしてはなりません。いつでも，エホバが何を望んでいるかを見極めましょう。）
- どこに住むことになるだろうか。（コリ一 15:33 だまされて(*思い違いをして)はなりません。**悪い交友**は**良い習慣を台無しに**します。）
- どれぐらい費用がかかるだろうか（ルカ 14:28 例えば，塔を建てようと思う場合，**まず座って費用を計算**し，完成させるだけのものを持っているかどうかを確かめるのではないでしょうか
- 仕事を見つけたりクリスチャンとしての目標を達成したりするのにプラスになるだろうか。（伝 12:13 全てを聞いた今，結論はこうだ。**真の神を畏れ，その方のおきてを守り**なさい。**人の務め**は**それに尽きる**。）

18. どんな決定をするにしても一番大切なことは何ですか。

18 この記事で考えた通り，もっと教育を受けることにはメリットとデメリットがあります。それで**祈ってよく考える**ようにしましょう。経済的なメリットはあるかもしれませんが，人を本当に幸せにするのはお金ではありません。エホバとの友情です。（詩 16:9 私の**心は喜び，内から喜びが湧き上がる**。 私は**安全に住む**。，11 あなたは**命の道**を**私に知らせて**くださる。 **あなたの前**には**あふれる喜びが**ある。 **あなたの右**には**永遠の幸せが**ある。）教育をどれぐらい受けているかに関係なく，エホバに仕える人をエホバは大切にしています。（ヘブ 13:5 **お金を愛するような生き方をせず，今あるもので満足**しましょう。神はこう言っています。「私は**決してあなたを離れず**，決して**あなたを見捨てない**」。）では，もっと教育を受けることにした場合，どうすればそういう中でもエホバとの強い絆を守れるでしょうか。次の記事で考えます。

何を学びましたか

１．ガラ 6:5 からすると、さらに教育を受けるかどうか決める責任は誰にありますか。

・S04　私たちはみんな「自分の責任を自分で負」わなければいけないので、大人であれば、さらに教育を受けるかどうか自分で決める。子供であれば、親が決める責任を負うが、子供の時に親がきちんと教えていれば、大人になった時、自分で賢く判断できるはず。

２．クリスチャンは何のために教育を受けますか。

・S08　一番大切なのはエホバに仕えることなので、自活しながらエホバに仕えていくために教育を受ける。

３．もっと教育を受けるかどうか決める時、どんな要素を考えるといいですか。

・S11　**時間**。教育の予定をこなしながら、クリスチャンとしての活動や家のことをきちんとできるか。

・S12　**期間**。卒業するまでに何カ月、何年かかるか。全時間奉仕を始めるチャンスを逃してしまわないか。

・S13　**場所**。行きたい学校が家から遠く寮に入らないといけない場合は、家族と離れてエホバを信じていない人と一緒に暮らすために、エホバとの絆が危険にさらされないか。

・S14　**費用**。教育を受けるにはたいていお金がたくさんかかるので、「①どれぐらいの費用がかかるか、②きちんと支払えるか、③家族にかなりの負担がかからないか、④費用を抑えられるオプションはないか、⑤借金をするとしたら、返済にどれぐらいかかるか、⑥将来働いて自活しながら返済できるか」などを考慮できる。

・S15　**仕事の見つけやすさ**。自分が住んでいる所や、将来住みたいと思っている所ではどんな仕事のニーズがあるかを考えてみる。

45 番の歌 心の黙想

^ この記事と次の記事でいう教育とは，公的な基礎教育以上のものを指しています。それには，大学，短大，専門学校，高専，資格取得講座などが含まれます。

^ これまでエホバの証人が出した記事の中では，基礎的な教育以上の教育を受けることは勧められてきませんでした。例えば，「ものみの塔」2005 年 10 月 1 日号の「親の皆さん ― お子さんにどんな将来を望んでいますか」という記事では，大学に行くことにどんなリスクがあるかが取り上げられました。そういうリスクは今でもありますが，さらに教育を受けるかどうかは，それぞれが決めるべきことです。一人一人のクリスチャンが，子どもの場合は親が，よく祈って，聖書の原則や関係する要素を考えた上で判断します。誰も人の判断をとやかく言うべきではありません。長老であってもです。（ヤコ 4:12）

^ （格 14:15） 世間知らずの*人は全ての言葉を信じ， 聡明な人は 1 歩ごとにじっくり考える。

または，「経験のない」。